

平成 29 年度
下水道に関する人身事故発生状況について
(平成 29 年 11 月末現在)

1. 総括
2. 維持管理作業
3. 工事

国土交通省 水管理・国土保全局
下水道部

1.人身事故発生状況(総括)

(平成29年11月末現在)

平成29年度

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	3月までの集計	合計
維持管理作業	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (1)	1 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	3 (4)	3 (4)
	2. 負傷事故	3 (0)	2 (1)	2 (1)	4 (2)	3 (4)	4 (0)	1 (1)	3 (5)	0 (5)	0 (1)	0 (3)	0 (2)	22 (25)	22 (25)
	合計	3 (0)	2 (1)	2 (1)	5 (3)	3 (4)	4 (1)	2 (2)	4 (5)	0 (5)	0 (1)	0 (4)	0 (2)	25 (29)	25 (29)
	累計	3 (0)	5 (1)	7 (2)	12 (5)	15 (9)	19 (10)	21 (12)	25 (17)	25 (22)	25 (23)	25 (27)	25 (29)	-	-
工事	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	7 (3)	7 (3)
	2. 負傷事故	4 (5)	5 (4)	5 (6)	5 (8)	8 (5)	12 (8)	5 (8)	15 (7)	0 (13)	0 (15)	0 (15)	0 (9)	59 (103)	59 (103)
	合計	4 (5)	5 (4)	6 (6)	7 (8)	8 (5)	14 (8)	6 (8)	16 (7)	0 (14)	0 (15)	0 (17)	0 (9)	66 (106)	66 (106)
	累計	4 (5)	9 (9)	15 (15)	22 (23)	30 (28)	44 (36)	50 (44)	66 (51)	66 (65)	66 (80)	66 (97)	66 (106)	-	-
合計	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)	1 (0)	3 (1)	0 (0)	2 (1)	2 (1)	2 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (3)	0 (0)	10 (7)	10 (7)
	2. 負傷事故	7 (5)	7 (5)	7 (7)	9 (10)	11 (9)	16 (8)	6 (9)	18 (12)	0 (18)	0 (16)	0 (18)	0 (11)	81 (128)	81 (128)
	合計	7 (5)	7 (5)	8 (7)	12 (11)	11 (9)	18 (9)	8 (10)	20 (12)	0 (19)	0 (16)	0 (21)	0 (11)	91 (135)	91 (135)
	累計	7 (5)	14 (10)	22 (17)	34 (28)	45 (37)	63 (46)	71 (56)	91 (68)	91 (87)	91 (103)	91 (124)	91 (135)	-	-

※下段()書きは前年度(平成28年度)の値
 ※国土交通省へ報告のあった事故について集計

2.人身事故発生状況(維持管理作業)

(平成29年11月末現在)

平成29年度

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成28年度 合計
事業者主体	1. 都道府県	1	0	1	2	2	1	1	3	0	0	0	0	11	9
	2. 政令市	2	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	8	5
	3. 一般市	0	1	0	2	0	2	0	1	0	0	0	0	6	13
	4. 町村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	5. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	3	2	2	5	3	4	2	4	0	0	0	0	25	29
発生施設	1. 管渠	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	2. マンホール	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	7
	3. 処理場	1	2	1	4	2	2	2	3	0	0	0	0	17	16
	4. ポンプ場	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	4
	5. その他	1	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	5	1
	合計	3	2	2	5	3	4	2	4	0	0	0	0	25	29
事故類型	死亡事故	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	3	4
	1. 墜落・転落	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
	2. はさまれ・巻き込まれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 飛来・落下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. 切れ・こすれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5. 転倒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6. 激突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7. 土砂崩壊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8. 交通事故	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
	9. 感電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10. おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	11. 火災・爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12. 公衆災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13. 作業車両の横転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14. その他	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	負傷事故	3	2	2	4	3	4	1	3	0	0	0	0	22	25
	1. 墜落・転落	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	6
	2. はさまれ・巻き込まれ	1	1	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	6	11
	3. 飛来・落下	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	4. 切れ・こすれ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1
	5. 転倒	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0
	6. 激突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7. 土砂崩壊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8. 交通事故	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	9. 感電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10. おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11. 火災・爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12. 公衆災害	1	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	4	4
	13. 作業車両の横転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14. その他	0	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	5	2
合計	3	2	2	5	3	4	2	4	0	0	0	0	25	29	
被災者数(人)	1. 自治体職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	2. 委託先業者	2	2	1	5	4	3	2	4	0	0	0	0	23	26
	3. 第三者	1	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	4	4
	合計(人)	3	2	2	5	4	5	2	4	0	0	0	0	27	31
累計	3	5	7	12	16	21	23	27	27	27	27	27	-	-	

平成28年度

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
被災者数(人)	1. 自治体職員	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	2. 委託先業者	0	1	1	2	4	0	1	5	4	1	5	2	26
	3. 第三者	0	0	0	1	0	0	1	0	2	0	0	0	4
	合計(人)	0	1	1	3	4	1	2	5	6	1	5	2	31
累計	0	1	2	5	9	10	12	17	23	24	29	31	-	

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

人身事故情報データベース(維持管理作業)

平成29年度

平成29年11月末現在

NO.	発生年月日	事故情報			事故概要・発生防止策		被災者	
		事業主体	発生施設	事故類型	事故概要	再発防止策等		
11月								
1	H29.11.2	3. 一般市	その他	②死亡事故	8.交通事故	片側1車線の市道に設置しているマンホールポンプ場にて、マンホール蓋を開け路上よりマンホール内の洗浄作業を行っていたところ、走ってきた乗用車にはねられた。	1. 現行仕様書(安全対策要領)の見直し 2. 関係機関への手続きの徹底 3. 道路上における安全対策の改善と徹底	委託先業者
2	H29.11.13	1. 都道府県	処理場	①負傷事故	4.切れ・こすれ	焼却炉設備修繕において、濃縮汚泥貯留槽攪拌機の整備でシャフト受け用のチャンネル材の固定作業中、シャフトを支持していたナイロンスリングがずれた際に手を挟まれる危険を感じて慌てて手を引いたところ、チャンネル端部で左手小指を裂傷した。	・作業手順を再確認し、作業での相互指さし確認を徹底する。 ・保護具を正しく装着し、使用する。	委託先業者
3	H29.11.15	1. 都道府県	処理場	①負傷事故	5.転倒	現場確認で沈殿池の上を歩行していた際に、湿った泥だまりで足を滑らせて転倒し、右手をついたため手首を骨折した。	検討中	委託先業者
4	H29.11.16	1. 都道府県	処理場	①負傷事故	14.その他	雑用水バルブ操作作業において、エア作動弁を全閉にするため、モンキーレンチとパイプで閉めようとしたところ、レンチ部が外れ、顎と右頬を強打し骨折した。	今後、同様の事故が起こらないように手順書を作成。	委託先業者

3.事故発生状況(工事) (平成29年11月末現在)

平成29年度

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成28年度 合計
事業者主体	1. 都道府県	0	1	0	1	1	3	0	1	0	0	0	0	7	6
	2. 政令市	1	2	0	3	2	1	2	3	0	0	0	0	14	19
	3. 一般市	3	2	4	3	4	11	7	12	0	0	0	0	46	69
	4. 町村	0	1	1	2	0	0	0	2	0	0	0	0	6	10
	5. その他	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	2
	合計	4	6	6	9	7	15	9	19	0	0	0	0	75	106
工事分類	1. 管きょ開削	2	4	3	3	3	9	7	14	0	0	0	0	45	67
	2. 管きょ推進	0	1	1	3	3	0	1	1	0	0	0	0	10	12
	3. 管きょシールド	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3
	4. 管きょその他	0	1	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	5	4
	5. 処ポ土木建築	2	0	1	2	0	3	0	0	0	0	0	0	8	9
	6. 処ポ機械電気	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	3	10
	7. 処ポその他	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	3	1
	合計	4	6	6	9	7	15	9	19	0	0	0	0	75	106
事故類型	1. 墜落・転落	1	1	2	4	0	3	0	4	0	0	0	0	15	22
	2. はさまれ・巻き込まれ	1	1	2	2	1	3	3	6	0	0	0	0	19	23
	3. 飛来・落下	1	1	1	0	1	1	0	2	0	0	0	0	7	6
	4. 切れ・こすれ	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	3	1
	5. 転倒	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	5
	6. 激突	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	8
	7. 土砂崩壊	0	0	0	0	2	2	2	1	0	0	0	0	7	6
	8. 交通事故	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5
	9. 感電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10. おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11. 火災・爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	12-1. 公衆災害(人身)	0	0	0	0	2	3	0	1	0	0	0	0	6	14
	12-2. 公衆災害(物損)	0	1	0	2	0	0	3	2	0	0	0	0	8	10
	13. 作業車両の横転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	14. その他	0	0	0	1	0	2	0	1	0	0	0	0	4	4
合計	4	6	6	9	7	15	9	19	0	0	0	0	75	106	
被災者数(人)	1. 死亡	0	0	1	2	0	2	1	1	0	0	0	0	7	3
	2. 重傷	1	4	4	2	5	8	3	13	0	0	0	0	40	69
	3. 軽傷	3	1	1	3	3	4	2	3	0	0	0	0	20	24
	合計(人)	4	5	6	7	8	14	6	17	0	0	0	0	67	96
	累計	4	9	15	22	30	44	50	67	67	67	67	67	-	-
その他(民間発注工事など)															
	1. 死亡	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	2. 負傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

平成28年度

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
被災者数(人)	1. 死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	3	
	2. 重傷	4	1	5	5	3	7	7	5	7	10	10	5	69	
	3. 軽傷	1	3	1	3	2	1	1	2	5	1	2	2	24	
	合計(人)	5	4	6	8	5	8	8	7	13	11	14	7	96	
	累計	5	9	15	23	28	36	44	51	64	75	89	96	-	
その他(民間発注工事など)															
	1. 死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	
	2. 負傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

事故情報データベース(工事)

平成29年度

平成29年11月末現在

NO.	発生日月	工事情報			事故情報			被災者		
		事業主体	工事分類	従事作業	発生場所	事故概要	事故類型	年齢	性別	被害状況
11月										
1	H29.11.1	3.一般市	1.管きょ開削	管路掘削工	現場内	開削工事を施工中、建込み簡易土留を建込む前に、掘削深さ1.2m程の掘山内で地下埋設物の有無を作業員が確認していたところ、脇の道路側溝側壁が崩れ、作業員の左足付根に接触した。	3.飛来・落下	48	男	左足付根骨折
2	H29.11.1	3.一般市	1.管きょ開削	土工	現場内	雨水管布設のため、バックホウ 0.7m ³ を使用して掘削作業を実施中にバックホウを旋回した際、バックホウの後部と積み上げて置かれていたパネルに作業員が挟まれ負傷したものの。	2.はさまれ・巻き込まれ	25	男	肋骨・腕骨折
3	H29.11.2	2.政令市	1.管きょ開削	交通誘導員	現場内	1車線規制による雨水ボックスカルバート布設工事において、道路規制を移動させていた際に作業区域内を後進してきたバックホウと交通誘導員が接触した。	6.激突	78	女	右足首骨折
4	H29.11.7	3.一般市	1.管きょ開削	管布設作業	現場内	マンホール下流側の管渠をマンホールへ接続する(布設する)作業中に、土留めを設置していなかった管渠部分の背面の土砂が崩れ、作業員が巻き込まれ、死亡した。	7.土砂崩壊	76	男	死亡
5	H29.11.8	2.政令市	4.管きょその他	事前調査工	現場内	管更生のための測量作業において、マンホール鉄蓋を閉める際に、マンホールキーを使用しようとしたが、蝶番が外れかかっていて閉めることが出来なかったため、両手で鉄蓋を持ち閉めようとしたところ、体勢を崩し鉄蓋に指を挟み負傷した。	4.切れ・こすれ	40	男	左中指切断
6	H29.11.10	3.一般市	1.管きょ開削	薬液注入工	—	推進工事に伴う薬液注入工事において、観測井戸設置のため、ボーリングマシンにて削孔中に現地盤より1.9m付近にあったNTTケーブルを破損した(現地作業における見落としが原因)。	12-2.公衆災害(物損)	—	—	—
7	H29.11.14	4.町村	1.管きょ開削	交通誘導員	現場内	既設管(ガス管)の位置確認を行うために、片側交互通行規制(試掘)を実施していた際、交通誘導員が通行車両に停止の合図を行ったが、停止をせずに走行してきたため、交通誘導員が歩道側へ回避した時に左足首を捻挫した。	14.その他	58	男	左足首捻挫
8	H29.11.14	3.一般市	6.処ボ機械電気	電気作業	現場内	冷却塔の井水流量空調節弁の電気工事のため、焼却炉点検歩廊2階(高さ2.5m)にて作業中に、床がない箇所に足を踏み入れ、バランスを崩して落下。(安全帯未使用)	1.墜落・転落	45	男	背骨及び鎖骨骨折
9	H29.11.14	2.政令市	1.管きょ開削	重機オペレーター	現場内	鋼矢板の打込み途中に圧入機が転倒し、打込み箇所で作業していたバックホウのオペレーターが圧入機と近くで立て掛けてあった矢板との隙間に挟まれた。	2.はさまれ・巻き込まれ	30	男	右第多発肋骨骨折、他
10	H29.11.15	3.一般市	2.管きょ推進	型枠工	現場内	到達立坑の現場打ちマンホールの型枠作業中、高さ約5mの位置から誤って転落し負傷した。	1.墜落・転落	46	男	腰椎の破裂骨折
11	H29.11.16	3.一般市	1.管きょ開削	転圧作業	現場内	作業員が前後進プレートで管渠埋戻しの転圧をしていたところ、転圧した作業員及びバックホウ作業員双方が、後方確認が不十分で後退したことにより、転圧をしていた作業員の足がバックホウのキャタピラ部分に挟まれ負傷。	2.はさまれ・巻き込まれ	34	男	左足中指骨折
12	H29.11.18	4.町村	1.管きょ開削	測量・現場管理	現場内	現場作業終了時、現場パトロールをした際、現場内の資材置き場でマンホールの蓋が片付けてなかったため、一人で手押し車に蓋を乗せようとしたところ、載せきれずにマンホール蓋が右足親指に落下した。	3.飛来・落下	62	男	右足親指骨折
13	H29.11.20	3.一般市	1.管きょ開削	土工作業	現場内	埋戻し作業中、バックホウ0.25の後ろにいた作業員が、バックホウに背を向け、ダンブトラックを誘導していた。バックホウが後方確認を怠り、バックしたため、作業員にぶつかり、作業員は膝をついた状態で両足をバックホウに踏まれた。	2.はさまれ・巻き込まれ	41	男	右足の甲・小指・薬指骨折、左足打撲
14	H29.11.20	3.一般市	1.管きょ開削	ます取付作業	現場内	通行止規制を行い、掘削箇所、公共樹取付位置の確認作業中、0.1m ³ バックホウの後方を渡ろうとした際にバックホウが後退して、左足とキャタピラが接触し、そのまま倒れこんでキャタピラに踏まれた。	2.はさまれ・巻き込まれ	44	男	左足骨折
15	H29.11.21	5.その他	7.処ボその他	はつり工	現場内	管理棟2Fの窓設置に伴う開口部のハツリ工事のためハツリガラが屋根に飛散しないよう養生(ブルーシート)をしようと足場から乗り出したところ、バランスを崩して約3.5m下に転落した。なお、安全帯の着用はしていたが、親綱等の安全対策はされていなかった。	1.墜落・転落	64	男	骨折(腰、あばら骨)
16	H29.11.22	3.一般市	1.管きょ開削	土工作業	現場内	立坑への砕石投入作業実施時に、作業員が右腕をクラムシェルのバケットに挟み負傷した。	2.はさまれ・巻き込まれ	59	男	右腕骨折及び血管裂傷
17	H29.11.22	3.一般市	1.管きょ開削	—	現場内	下水道管の開削工事作業終了後、カラーコーン及びチューブライトによる立入禁止措置を実施していた(車両通行止、歩行者通路確保の状態)。罹災者(第三者)が自宅への帰宅途中、酔っ払っていたため、ふらつき、開削箇所(H=1.8m)に誤って転落。	12-1.公衆災害(人身)	29	男	左足、左まふた 打撲、切り傷
18	H29.11.27	1.都道府県	3.管きょシールド	—	現場内	シールド工法で掘進した雨水幹線(内径φ3500mm)を既存雨水幹線(内径φ6100mm)に凍結工法で接続している箇所にて、接合部のコンクリート打設準備のため解凍中、シールド外の土砂(約119m ³)が水とともにシールド内に流入し、道路陥没が発生した。	12-2.公衆災害(物損)	—	—	—
19	H29.11.29	3.一般市	1.管きょ開削	既設頂版撤去工	現場内	水路上部に設置された既設頂版を撤去するため、既設頂版を横断方向に切断していた際、作業員が水路を渡るために切断された頂版の上に乗ったところ、頂版が崩落し、作業員が水路に墜落。さらに、頂版の破片が作業員の腹部に落下し、作業員が負傷したものの。	1.墜落・転落	36	男	腸裂傷

平成 29 年度
下水道に関する水質事故等発生状況について
(平成 29 年 11 月末現在)

国土交通省 水管理・国土保全局
下水道部

水質事故等発生状況

(平成29年11月末現在)

[総括]

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
水質事故等	合計	1 (3)	3 (7)	6 (4)	6 (4)	1 (3)	11 (4)	5 (5)	6 (2)	0 (5)	0 (6)	0 (4)	0 (1)	39 (48)
	累計	1 (3)	4 (10)	10 (14)	16 (18)	17 (21)	28 (25)	33 (30)	39 (32)	39 (37)	39 (43)	39 (47)	39 (48)	- -

[内訳]

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業主体	1. 都道府県	1 (0)	1 (0)	2 (0)	2 (1)	1 (0)	3 (1)	1 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	12 (6)
	2. 政令市	0 (0)	1 (1)	0 (1)	1 (1)	0 (0)	5 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	8 (7)
	3. 一般市	0 (3)	1 (6)	3 (2)	3 (1)	0 (3)	3 (2)	3 (2)	5 (2)	0 (3)	0 (3)	0 (3)	0 (0)	18 (30)
	4. 町村	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	1 (5)
	5. その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	合計	1 (3)	3 (7)	6 (4)	6 (4)	1 (3)	11 (4)	5 (5)	6 (2)	0 (5)	0 (6)	0 (4)	0 (1)	39 (48)
発生施設	1. 管渠	1 (2)	2 (4)	3 (3)	1 (1)	0 (2)	2 (1)	1 (1)	3 (2)	0 (2)	0 (2)	0 (1)	0 (0)	13 (21)
	2. マンホール	0 (0)	1 (1)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (1)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	8 (4)
	3. 処理場	0 (1)	0 (1)	3 (1)	3 (3)	1 (0)	5 (1)	1 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	13 (12)
	4. ポンプ場	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (4)
	5. その他	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	1 (0)	2 (0)	0 (3)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	5 (7)
	合計	1 (3)	3 (7)	6 (4)	6 (4)	1 (3)	11 (4)	5 (5)	6 (2)	0 (5)	0 (6)	0 (4)	0 (1)	39 (48)
原因者	1. 下水道管理者(委託先含む)	1 (1)	3 (2)	3 (2)	3 (1)	0 (2)	6 (2)	3 (4)	4 (1)	0 (1)	0 (2)	0 (3)	0 (0)	23 (21)
	2. 民間事業者(一般人を含む)	0 (1)	0 (4)	2 (1)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (3)	0 (2)	0 (1)	0 (1)	4 (15)
	3. その他(天災、原因者不明含む)	0 (1)	0 (1)	1 (1)	2 (2)	1 (1)	4 (1)	2 (1)	2 (1)	0 (1)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	12 (12)
	合計	1 (3)	3 (7)	6 (4)	6 (4)	1 (3)	11 (4)	5 (5)	6 (2)	0 (5)	0 (6)	0 (4)	0 (1)	39 (48)
事故類型	① 悪質下水の流入(放流水質が基準に不適合)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)
	② 悪質下水の流入(放流水質が基準に適合)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	3 (4)
	③ 悪質下水の流入によらない放流水質の基準不適合	0 (1)	0 (1)	0 (1)	1 (0)	1 (0)	1 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (5)
	④ 雨水管からの悪質下水の流出	0 (1)	0 (4)	0 (2)	0 (0)	0 (1)	1 (0)	1 (0)	0 (1)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (11)
	⑤ 下水道施設からの下水等の流出	1 (1)	2 (1)	2 (0)	1 (1)	0 (1)	3 (2)	2 (3)	4 (1)	0 (2)	0 (3)	0 (2)	0 (1)	15 (18)
	⑥ その他事故(①～⑤以外の事故)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	4 (2)
	水質事故 合計	1 (3)	2 (6)	4 (4)	3 (2)	1 (2)	6 (4)	4 (5)	6 (2)	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	27 (41)
その他案件	0 (0)	1 (1)	2 (0)	3 (2)	0 (1)	5 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	0 (1)	0 (0)	12 (7)	
水質事故等 合計	1 (3)	3 (7)	6 (4)	6 (4)	1 (3)	11 (4)	5 (5)	6 (2)	0 (5)	0 (6)	0 (4)	0 (1)	39 (48)	
状況分類	① 耐用年数経過	0 (0)	0 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (4)
	② 耐用年数以内	1 (0)	1 (1)	2 (0)	3 (0)	0 (1)	1 (1)	2 (1)	3 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (2)	0 (0)	13 (8)
	③ 天災等	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (5)
	合計	1 (1)	1 (2)	3 (0)	3 (1)	0 (2)	1 (1)	2 (2)	3 (1)	0 (1)	0 (3)	0 (3)	0 (0)	14 (17)

※状況分類については水質事故等において、事故発生原因が下水道施設の損傷または、設備の故障によるものを集計

※()内書きは、前年度(平成28年度)の値

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

水質事故等情報データベース

平成29年度

平成29年11月末現在

NO.	発生年月日	事故情報			状況分類		事故概要・対応	
		事業主体	発生施設	事故類型	供用年数 ／ 標準耐用年数	損傷・故障 の発生状況	事故概要	事故への対応
11月								
1	H29.11.15	1. 都道府県	マンホール	水質事故	⑤下水道施設からの下水等の流出			圧送管の空気弁にゴミが噛み込み汚水がマンホールより流出した 閉止しても問題がない箇所の空気弁を閉止する。
2	H29.11.18	3. 一般市	その他	水質事故	⑥その他事故(①～⑤以外の事故)			灯油が雨水幹線等に流入した。 水路に油を流さないことをお願いする内容をホームページにて継続掲載する。
3	H29.11.28	3. 一般市	その他	水質事故	⑥その他事故(①～⑤以外の事故)			油が雨水幹線に流入、河川へ流出した。 検討中

水質事故等情報データベース(原因:施設損傷・設備故障によるもの)

平成29年度

平成29年11月末現在

NO.	発生年月日	事故情報			状況分類		事故概要・対応	
		事業主体	発生施設	事故類型	供用年数 ／ 標準耐用年数	損傷・故障 の発生状況	事故概要	事故への対応
11月								
1	H29.11.14	3. 一般市	管渠	水質事故	⑤下水道施設からの下水等の流出	36/50	耐用年数以内	経年劣化により、橋に添架した圧送管に穴が開き汚水が流出した 当該圧送管の改築を行う
2	H29.11.21	3. 一般市	管渠	水質事故	⑤下水道施設からの下水等の流出	26/50	耐用年数以内	圧送管に設置されている空気弁の立ち上げ管において、経年劣化により腐食してできた穴から汚水が漏水した。 検討中
3	H29.11.25	3. 一般市	管渠	水質事故	⑤下水道施設からの下水等の流出	36/50	耐用年数以内	橋に添架している圧送管の空気弁が損傷し、汚水が漏水した。 当該圧送管の改築を行う